

主な出来事

【内政】

- ジャン・ピン事務所における野党関係者の拘束・解放
- 第2副首相兼法務・人権・国璽大臣の辞職
- ジャン・ピン候補による憲法裁判所への異議申し立て
- 憲法裁判所公判：アリ・ボンゴ大統領再選
- 新首相の任命

【外政】

- ガボン大統領選挙：AUミッション派遣の無期限延期
- MINUSCA派遣兵士による性的暴行

【経済】

- ガボン政府によるCEMAC市場への国債発行：100億CFAフラン
- ガボン政府によるガボン国営石油企業との石油探鉱・生産分与契約締結

【内政】

1 選挙暫定結果発表後の衝突

8月31日、内務大臣による大統領選挙暫定結果発表を受けて、首都リーブルビル、ポールジャンティ、その他都市において衝突が発生した。（1日付AFP）

2 ジャン・ピン事務所における野党関係者の拘束・解放

8月31日夜、ジャン・ピン事務所に集結した野党関係者27名が、治安当局による事務所襲撃を受けて同事務所に監禁された。2日夜、ビリ・ビ・ンゼ政府報道官は、ジャン・ピン事務所にて拘束されていた野党関係者27名が解放された旨発表した。（2日付、3日付RFI）

3 第2副首相兼法務・人権・国璽大臣の辞職

5日午後、セラファン・ムンドウガ第2副首相兼法務・人権・国璽大臣は、ガボン民主党（PDG）を離党するとともに、大臣職を辞職する旨発表した。同大臣は、投票所ごと及び調書ごとの再集計を要求し、ガボン国民とともに国内平和の実現に向け、完全な自由を享受するために辞職した旨説明した。（6日付AFP、7日付EN）

4 ジャン・ピン候補による憲法裁判所への異議申立

8日、ジャン・ピン候補は、憲法裁判所に対し、ボンゴ一族の地元であるオート・オグエ州の票の再集計を求める申立をした。ピン候補側の発表によると、同候補は、オート・オグエ州における選挙結果について、独立常設選挙委員会（CENAP）が作成した調書に照らし合わせた投票所ごとの票の数え直しを求めている。（8日付AFP）

5 内閣の一部改造

7日、第2副首相兼法務・人権・国璽大臣の辞職を受けて小規模な内閣改造が行われ、ドゥニーズ・メカム高等教育・科学研究大臣（当時）が法務・人権・国璽大臣に昇格、デジレ・ゲドン都市計画・住宅大臣（当時）が高等教育・科学研究大臣に就任したほか、新たにアレクシ・ブタンバ・ンビナが都市計画・住宅大臣に就任した。（8日付RFI）

#### **6 ガボン大統領選挙：ボンゴ大統領の国民に対する呼びかけ**

13日、アリ・ボンゴ大統領は8月27日に行われた大統領選挙とその後の一連の騒動に関して、国民に国家機関と民主主義の尊重を呼びかける演説を行った。（14日付UN）

#### **7 ガボン大統領選挙：憲法裁判所公判**

22日夜、8月27日に実施された大統領選挙に係る憲法裁判所の公判が行われ、ピン候補は、オート・オグエ州の開票結果について、内務大臣と州知事の発表に相違があるなどとして、同州における票の再集計を要請した。一方、ボンゴ候補は、解読不能な調書が複数存在するエスチュエール州の他、ピン候補が100%近く得票したオンブエ市等の開票結果を再検査すべきなどと要請した。（22日付GA）

#### **8 法務大臣声明：選挙後の騒乱にかかる国際刑事裁判所への付託**

22日、メカム法務大臣は、大統領選挙結果発表後に起きた一連の暴力行為につき、国際刑事裁判所（ICC）に付託する決定を下した旨声明を発表し、ICC検事に対し、審査の開始と可及的速やかな捜査官の派遣を要請した。（23日付UN）

#### **9 憲法裁判所公判：アリ・ボンゴ大統領再選**

23日夜開廷した憲法裁判所は、アリ・ボンゴ・オンディンバ：50.66%（172,990票）、ジャン・ピン候補47.24%（161,287票）で、アリ・ボンゴ大統領の再選を宣言した。（24日付UN）

#### **10 大統領就任式の開催**

27日、大統領府内別館大広間において、アリ・ボンゴ大統領の大統領就任式が執り行われ、トーゴ、マリ、ニジェール、サントメ・プリンシペから大統領が、モロッコ、セネガル、コンゴ（共）、中央アフリカ、チャドから首相が参列したほか、国内関係者・外交団が出席した。（28日付UN）

#### **11 新首相の任命**

28日、アリ・ボンゴ大統領はエマニュエル・イソゼ・ンゴンデ外務・仏語圏・地域統合大臣を新首相に任命し、同大統領は新首相に対し「開かれた内閣」の組閣を命じた。（29日付UN）

### **【外政】**

#### **1 ガボン大統領選挙：AUミッション派遣の無期限延期**

8日、イソゼ・ンゴンデ外務大臣は、AUミッションの派遣が無期限に延期された旨発表した。同外相によれば、今次延期は「日程上の都合」によるものであり、国際社会の介入を正当化する治安や人道上の危険はガボン国内に存在しない旨述べた。（9日付AFP）

#### **2 ボンゴ大統領による赤道ギニア大統領特使との会談**

21日、アリ・ボンゴ大統領は赤道ギニア大統領特使と会談し、中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）の地域統合に係る進展や大統領選挙後の一連の騒動の沈静化について意見交換を行った。（21日付UN）

### 3 MINUSCA派遣兵士による性的暴行

26日、国防省は国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション（MINUSCA）に派遣中のガボン兵2名がバンギにおいて性的暴行事件を起こしたとされる件に関し、直ちに調査を開始すると同時に、当該兵士を帰国させ、起訴事実が確認された際には、ガボン政府は当該兵士を軍登録から抹消し、身元を司法の手に委ねる旨表明した。（27日付UN）

## 【経済】

### 1 マグロ漁取り締り作戦の終了

15日、チャンゴ漁業・畜産大臣は、ガボンの排他的経済水域（EEZ）における漁業活動の追跡、コントロール及び監視にかかる「ビンナガマグロ（Albacore）作戦」の終了を宣言した。（17日付、18日付UN）

### 2 経済自由度指数：ガボン34位

フレーザーは、2016年報告書にて、輸出入制限、市場規制、司法の独立等の観点から、ガボンの経済自由度指数をアフリカ大陸で34位に位置づけた。（19日付UN）

### 3 ガボン政府によるCEMAC市場への国債発行：100億CFAフラン

14日、ガボン政府は中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）市場に対して、金利4.4～5%の計100億CFAフランの国債発行を決定した。（22日付UN）

### 4 ガボン政府によるガボン国営石油企業との石油探鉱・生産分与契約締結

ングブ石油・炭化水素大臣は、ガボン国営石油企業GOC（Gabon Oil Company）との間で、石油探鉱・生産分与契約「Mboga II n° G5135」を締結した。同契約により、GOCは、推定日産1,300バレルのオグエ・マリティム州 Mboumba 鉱区の探鉱が可能となる。（27日付UN）

### 5 国際競争ランキング発表（世界経済フォーラム）

世界経済フォーラムは、2016年の国際競争力ランキングを公表し、ガボンは世界ランキング108位、アフリカ大陸では11位、中部アフリカ地域では1位に位置づけられた。（30日付UN）

出典：PR（大統領府公式HP）、UN（ユニオン紙）、GM（ガボン・マタン紙）、GN（ガボン・ニュース電子版ニュース）、AFP、GA（Gabonactu.com）、GR（ガボン・レビュー電子版ニュース）、LG（ル・ガボン電子版ニュース）、GE（ガボン・エコ電子版ニュース）、AFP（フランス通信社）、GL（ガボンリーブル電子版ニュース）、AFI（アフリカ・エネルギー・インテリジェンス）、LP（LOUP 紙）、EN（エコ・ノール紙）